

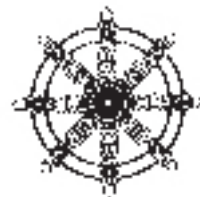
加害者になる人は、それまでにたくさん傷つけられた被害者でもあるのです

お念仏の 家族になろう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版  
じゅんしょうじほう  
純正寺報

青色青光 No.338



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

7月25日(木)

10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 15:30

# こんき常例布教

お勤め：『正信念仏偈・恩徳讃』

ご法話：愛荘町了教寺住職 藤岡 俊彦 師

お念仏を通じて本当の同朋(友)にであいましょう

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞いただけます。

# 住職法話 我聞如是

## 南無阿彌陀仏とビハーラ活動

今、教誨師と保護司に思うこと

学仏大悲心

われかくのごとくきく

浄土真宗の教えは、阿彌陀仏により選ばれた浄土からのはたらきである。「南無阿彌陀仏」の名号によって、浄土に生まれてさとりを得ることを疑いなく信じて、「南無阿彌陀仏」を聞き称えながらお浄土への道（人生）を歩むという教えです。

では、お浄土への道をお念仏に生きるとは、どのような生き方なのでしょう。浄土真宗で最も大切にすることは「お聴聞」です。お聴聞とは、浄土真宗（お念仏）の教えを聞くということですが、七高層のお一人である中国の善導大師は、お聴聞とは「学仏大悲心」であるとお示しくくださ

いました。

聞くとこのころの教えとは、「阿彌陀仏の大慈悲心」であるということです。そして、聞くとは学ぶということとであり、聞くということとは聞いて終わりなのではなく、聞いた教えを「学ぶ（まねぶ・真似る）」ことだと言いつけてくださるので、大慈悲心とは、人の苦しみや痛みや悲しみに対して、それを取り除こうとする阿彌陀仏のさとりのお心です。

ですから、お浄土に向かつてお念仏に生きるとは、阿彌陀仏の大慈悲心に包み込まれる温かさによるこびを感じつつ、自分さえ良ければという自己中心的

な生き方ではなく、他者の苦しみや悲しみや痛みを放っておかず、その克服に向けて自発的に関わっていく生き方ということになります。これが、学仏大悲心という念仏者の生き方です。

### 加害者も被害者

五月の末に、「全国教誨師大会」に参加しました。記念講演のご講師は、二〇一四年に「教誨師」という書籍を出版された、ノンフィクション作家の堀川恵子さんでした。講題は「教誨師の役割」宗教教誨がもつ意味とは」。堀川さんは、テレビ局の報道記者として働かれていた頃、死刑判決と死刑執行に強い関心を持たれ、その後独立されて死刑について取材を進める中で、渡邊普相という教誨師を務める僧侶と出会われ

ました。

教誨師とは、刑務所や拘留所、少年刑務所や少年院などで、収容されている人に宗教に基づく徳性教育を施す宗教者のことです。全国に、現在千四百名余の教誨師が存在します。渡邊教誨師は、東京拘置所で死刑囚専門の教誨師でした。その死刑囚への教誨活動を、渡邊教誨師から聞き取りをして出版されたのが、先の「教誨師」という本です。

渡邊教誨師は、全国教誨師連盟の理事長を務められるほどの、熱意と誠実さを兼ね備えた教誨師だったようです。被収容者（受刑者）にどれだけ教えを説いても通じないことにとても悩んでおられました。渡邊教誨師は、その悩みを先輩教誨師である篠田龍雄師に打ち明けます。すると、篠田教誨師は「教誨とは、こ

ころを『空』に転じる仕事」だとおっしゃったのです。それは、教誨とは教えを説くことではなく、死刑囚の苦しみにおけるを精一杯傾けて聴くことだという意味でした。

堀川さんは、渡邊教誨師のインタビューを通して、教誨の仕事はビハラーと同じ仕事なのだとお話し下さいました。私は、堀川さんのお話しを聞かせていただいて、とても驚きました。何故なら、私の教誨師としての基本姿勢が正しくビハラーのころだったからです。ビハラーのころとは、人間の苦悩に向き合いその解決に向けて自発的に関わろうとするころ、正しく学仏大悲心のころなのです。

した。二週間後に殺人の容疑者として逮捕されたのは、その保護司が保護観察を担当していた男性でした。現在、容疑者の男性は容疑を否認していますが、もし、保護司が担当している対象者から殺害されたとなれば、保護司制度始まって以来初のこととなります。

保護司とは、保護観察処分となった罪犯者が、さらなる罪に至らないように、社会の中で更生できるように支援する役割を担った、法務大臣から委嘱される非常勤のボランティア国家公務員です。志で務めるボランティアの職務が、生命の危険と隣り合わせであることが露見した今回の事件は、全国の五万人近くの保護司を恐怖に陥れています。

かからないようにと様々な規制が設けられています。例えば、対象者に金銭や食事を提供してはならないとか、観察期間が終了したらもう対象者と会ってはならないとか。これは全て、保護司を危険から守るための規則です。しかし、この規則は保護観察を受ける対象者からすれば、とても冷たい規制かもしれません。

何故そう思うのかというと、もし保護観察という制度が罪に至った対象者を中心にするのならば、私の保護司としての実務経験からすると保護司を守るこの規制の外側にこそ、対象者が求めている本当に必要な「保護」があると感じているからです。ですから、私は時々この規則を破って外に出してしまう「不良保護司」です。対象者は皆、犯罪加害者です。犯した罪は決して許されません。しかし私は、加害者は同時に被害者でもあ

念仏者は  
ビハラーに生きる

人が犯罪者になってしまふのは、それまでに心や身体がズタズタになるほどの沢山の傷を負わされてしまった被害者だからなのです。だから、心身に深い傷を負った人に厳しく指導しても、さらに深く傷つけるだけになるかも知れません。罪に至る程の、深いきさくれ立った心の傷を回復させるのに大切なことは、罪に至ってしまった心の痛みや苦しみに誠意を持って耳を傾けうなづき続けることだと思ふのです。保護司の職務も、私にはやはりビハラー活動なのでした。

私にとつての念仏者に生きるとは、どの職務も全て南無阿弥陀仏からいたたくビハラー活動であるということでした。



# 純正寺7月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を越えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ 一、六三九、八八四個  
六月中に、皆さんからお預かりしたペットボトルのキャップは一九三二個。今月も、セルプ彦根様にお届けいたします。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

6日(土)・13日(土)  
10:00~12:00  
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

15日(祝)・21日(日)  
16:00~18:00  
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

## みんなの食堂ビハーラ

11日(木)・25日(木)  
17:00~19:00  
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

## 世のなか安寝なれ「ビハーラ彦根」

14日(日)  
18:00~20:00  
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

9日(火)・23日(火)  
10:20~11:30  
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう

## 「月例法話座談会」

19日(金)  
14:00~16:00  
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## 住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません

生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、090-7874-2849  
相談予約専用メールアドレスはnamo-yorozu@docomo.ne.jp

## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50  
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み、『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

## みんな法友こんき常例布教

25日(木)  
10:00~12:00.13:30~15:30  
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法の朋が法座です。ご法話は、了教寺の藤岡俊彦師です。

## ご協力ありがとうございました

純正寺では、毎朝の「常朝事」を「Facebook live」で生配信しています。ところが、6月12日の朝に突然配信ができなくなりました。画面表示には「Facebook liveの規定を変更しました。あなたのページは、フォロワー数が100未満ですので、ライブ配信がご利用いただけません」とありました。そこで、私のFacebookを通じて「常朝事のページをフォローしていただけないでしょうか」とお願いいたしましたところ、数時間で100名を超える方々からフォローをいただきました。おかげさまで、13日の朝からまたライブ配信を再開することができました。ありがとうございました。